

常磐文藝

我心冷し 荷香

朝あけに城山さして上りたる友もありしが今は世に居す 早寝せし夜半のねざめに吾が心 思ひ出されぬ淋しさの湧く 語り出す友がひとみの悲しさは 夜更けし丘に木枯しの吹く 大地震また來ると人々が恐がりたれど我心冷し 運命にのがれ得ぬぞ我が心が 静まり居れど悲しさのな

(高月會)山茶花 枯庭也只山茶花の赤うして 山茶花の夕べ明るき書院かな 耕形 うす日さす山茶花寺の御講果て 雞山 山茶花の咲いて今年も句座納 同 山茶花や日さしまばゆき 詩仙堂 同 退院日友も來て山茶花日和哉 叟石 山茶花の疎き日に半襟干しにけり 同 山茶花也兼好庵の窓の前 牛城 山茶花が果敢なく散るよ 命 紅陽 山茶花の奥は爪弾く未亡人 松童 垣越しに山茶花の咲く山の寺 夢充

カテイラン

毛糸の種類のいろいろあり ますが家庭用として需要されてゐるものは和製及び獨逸製スコッチ、日本製綿毛糸、英國製蝶印、ミネルバ、フライシャー、ヤーンなどです、このうち日本製スコッチは、糸があらくて、強

いので靴足袋とか手袋には適しますが、シヨールやヌエター、帽子等には向きません、さういふ物は普通の綿毛糸がドイツ、スコッチ蝶印などがよく、ミネルバまたはフライシャーならば申分ありません、しかしミネルバやフライシャーは値段が高いので、一般には少し考物です、日本製の綿毛糸も近來は随分品質のよい

看護婦派の求めに應ず

平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

△土地建物

賣買并ニ是ニ關スル萬般ノ御相談ニ應ズ

△床板、床縁落掛

澤山新荷着 ◎大谷石本場一等 品寸法御望次第

磐城建物株式會社

平町五丁目 電話五一八番

粹で上品な下駄を御求めの際は是非

平町二丁目(電話二五六番) 三井ハキモ店

銅御殿は贅澤に非らず

建築用材として銅板を推奨す 一、銅板の特色 其の用途は屋根、樋、扉、軒、蛇腹、戸張、戸袋、煙突等、家屋内外の裝飾、日用品に至る迄 各種保護建築物は一として使用せざる無く其の耐久力の如何に卓絶せるか數百年の今日猶古色蒼然として高尚優雅なる實に贅澤を超越せる 經濟的逸品たるは到底他物及ぶ處てありません 二、焦眉の急務 震災地の復興一日を競ふの時理想的唯一の材料として本来の眞價を發揮し來たり需要益々旺盛です、況んや此の際大なる覺醒の下に一新規劃として正に改造さるべき御建築に對し一切に我が完全無缺なる銅板の御使用を御勧め致します。 三、弊店の信條 價損低廉、品質精撰、出荷迅速、誠實無比を綱領として在庫豊富に取揃へてあります。 何卒多少にかはらず御用命願ひます。 古河電氣工業株式會社 日光精鋼所特約發賣元

和洋銅鐵 釜屋商店 金物問屋 振替貯金口座東京一〇九五六番 電話九番 一三九番



一月八日夕刊

價定 一部金貳錢 月極 二限リ一ヶ月卅錢 料告廣 五號十三字詰 一行五十錢 日刊休 日曜 大祭 祝日の翌日 所刷印 福島縣石城郡平町 田町十六番地 磐城新聞社印刷部 印刷人 川崎文治 所行發 福島縣石城郡平町 字長橋町卅五番地 常磐毎日新聞社

年頭雜感(二)

大正は既に十三の春を迎へた。吾々此の年頭に當りて特に其の考へを深ふするものは即ち吾々のかうした輕虚な根底のない批評と行動とである。 自からの無限性を感じる ときの人こそ、誠の人である、人が神性たるとき、そして其の神性が彼れに於ける創造者なる時の人こそ、眞の人である、だから彼れが此の純眞に達する時彼れの創造がある、何故なれば彼自らの創造に於て、彼れは眞に生くるを得、神の境界より現實をば作り出すべ

きに彼は誠に生き得るが故である 吾々は總べてのこゝを眞實に考察する時どうしても此處まで行くのである 此の大地は、彼ブライマ(神)の悦びである 彼の悦びは此の蒼空である、彼の悦びは月に輝き日に耀めく、彼の悦びはその始でありそは半ばであり、その終りである、彼の悦びは目である、腫であり光である、大洋も波も彼の悦びである、

彼の悦びはかのサラスワチであり、かのユマナであり、ガンドスの流れである。 大いなる主は一である、生も死も統一も分離も、總べては彼の悦びの演奏である。 此の世界は眞實であり然かもそれは人格的であることを知つた或る印度の詩人はかう歌つてゐる。 吾々は少なくとも此の詩句を味ふだけの思慮を必要とする、必要なが故に其れを自己に求めて生を續けたい。(一九二四、一、五)

株式買中値

Table listing stock market values for various companies and banks. Includes entries for 磐城銀行 (Iwajima Bank), 平銀行 (Hira Bank), 農工銀行 (Nogyo Bank), etc., with their respective values.

丸登株式會社

平町田町電話三三三番 添房二郎

# 新装を凝らした 敷地決定

## 平町役場を 新築すべき敷地決定

一二丁目横町の突當りに  
九百坪の土地を擁して  
本日地主へ交渉

平町役場新築に關しては既記の如く東都震災等の影響にて其緒に着くを得なかつたが昨日新築委員は候補敷地を實地踏査し本日午前十時から同委員

## 宮の山火事

ボタ炭が發火  
石城郡宮野大字宮字峯根山火事  
折柄の烈風に火は勢を得て燃焼が激し消防組や火防隊が出勤して午後七時半頃漸く消し止めたが約一町歩を焼失した原因は磐城炭礦の捨てたボタ炭から發火した模様らしきも目下調査中

## 二千坪の敷地を寄附

江田驛を新設せん爲め  
上小川の村會にて決議  
榮と共に營業所狹隘を告ぐるに至り今回四丁目元百七銀行跡に移轉したが支店長永井喜三郎氏は「實は營業所を新築する計劃ありたのですが此際の際である爲め取敢らず幾分廣い處へ移轉して一時をしのぐ事となりました、披露會でも催すが本意ですが時節柄故總べてを遠慮する事になつたのです」と語つた

## 農銀 移轉

元百七の跡へ  
農工銀行平支店は行務の繁

## 氷を踏んで

歩兵第廿九聯隊の耐寒行軍  
朔風の舊曆正月月中旬頃に  
歩兵第廿九聯隊にては舊曆正月月中旬を期し濱街道に耐

## 常磐片々

歩兵廿九聯隊が氷を踏んで耐寒行軍  
寒いなんかは義理にも云ひない筈だ

## 改築の計劃

御慶事記念に  
石城郡にては攝政宮の御慶事記念事業として磐城訓育附の改築を計畫し過般の町村長會議に提出したが豫算は三萬圓である

## 入 出發日時

平町現役兵の  
平町入營兵の平驛出發日時は左の如くであるから例に依つて多數停車場に歡送さ

## 仙臺大學

## 病院焼く

今朝午前一時同病院賭宅から發火し數十棟を焼失同三時鐘火した原因取調中  
八日午前九時五十分、歩兵第六十五聯隊、八幡小路永島留(九日午前七

て平町に來り附近山野を跋渉して演習を試み歸路は徒歩にて平町を出發し歩武堂々氷を踏んで富岡、原町、中村を過ぎ宮城縣角田、岩沼を経て歸隊の豫定で行軍の日程は五日間の由

## 自稱稅務屬が 藝妓を誘拐

常奴の痛事  
茨城縣久慈郡賀實村大字上澤自稱稅務屬正八位弓野留吉(二五)は舊臘廿三日四倉町旅館兼料理店橋本屋に登樓し同家抱藝妓常奴事山形縣生れ遠藤しのぶ(一六)を誘拐逃走し本宮署に捕る

## 不平受付

投書歡迎  
卒業式の服裝 本年三月

## 眞面目な 性慾問題

泣き叫ぶ女  
西洋の語では産婦を「泣き叫ぶ女」と云ふ、聲を放つて泣く程苦しいものと相場が定つて居るのである。出産といふ偉大な労働に向つてはあの程度の疼痛を加味しなければ、充分に仕事を完結することが出来ないためであらうと思はれる、腹を痛めて産むと云ふことには種々の意味が附けられて居るが恐らくあれは生理上必要なものであつて、別に婦人に稱せられた皮肉な租税といふ譯ではあるまいと考へられる。分娩が終つて空になつた子宮が急いで恢復の作業を行つて居る間に、乳線は俄に活動を開始して赤ん坊に最も完全なる糧食を供給する、如何に化學が進歩しても母乳の如くに完全な食物を調製することは出来ない、乳兒の營養上母自ら授乳することの必要なのは云ふまでもない、又授乳は一方分娩後の体力恢復に向つて必要な刺激を與へ授乳の必要期が経過する頃卵巢内の黄体は縮少して小い痕となる

## 筆劍新年宴

尼子亭にて  
在平新聞記者は平警察署長其他職員と共に十二日午後四時半から松ヶ岡公園尼子亭に於て新年宴會を催す筈

## 農事講習

各町村に於て  
石城郡にては來月廿一日から三日間江名町小學校、同廿六日から三日間川前村及び小名濱町にて婦人農事講習會を開催する筈だが講習

△白銀町 三瓶利信長男勝男  
△紺屋町 遠藤千代吉二女とし子  
△材木町 長谷川仙吉三男仙吉